

STOP

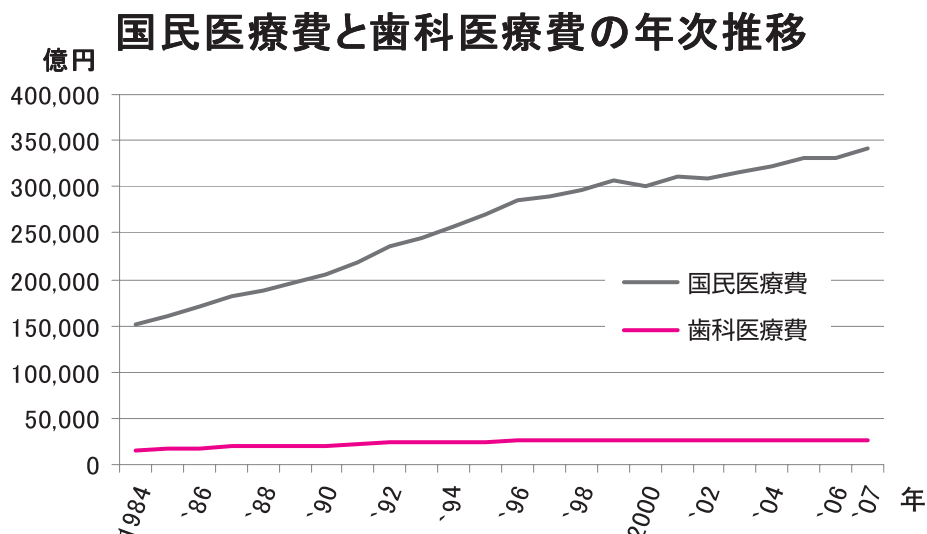
国民歯科医療崩壊

よい歯肉は元気の入り口です。
健口北海道を創ろう!

国民の総医療費は年々増加しています。過去10年の間に、27兆円から34兆円に膨らみました。この状況の中、歯科医療費は2兆5千億円のまま、まったく変わらず推移していますが、私たち歯科医療機関は国民に良質な歯科医療を提供するために努力を重ねてきました。しかし、国が低く抑えてきた歯科医療費政策のため、新しい技術の保険導入が進まない状況になってしまいました。このままでは、すべての道民の皆さまが安心して最良の歯科医療を受けることができません。道民の皆さまから悲痛な叫び声が聞こえます。「治療費がいくらかかるか不安だ」「歯を治すのに保険がきくのだろうか」と。北海道歯科医師会は国の施策として歯科医療が充実されるよう提言します。

低歯科医療費政策では国民の健康は危ない!

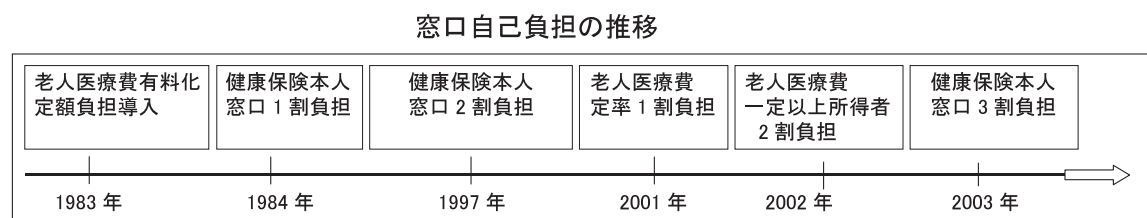
国民医療費は約34兆円で前年度に比べると1兆84億円、3.0%の増加となっています。歯科医療費の割合は全体の7.3%にすぎなく、年々減少しています。原因は医科に比べ初・再診料が不当に低いことと歯科治療が保険で十分にカバーされていないことにあります。



このままでは国民の歯・口の健康は保障されません。保険診療の拡大が必要です。

窓口負担の増加は国民に対し医療格差をつくる!

1983年以降、国は財政難を理由に、皆さまの医療機関で支払う窓口自己負担を度重ね増加してきました。患者さんの負担の上に保険診療が成り立つことは許されません。お金の心配などしなくても受診できるよう、窓口負担を引き下げなければなりません。



国は国民が安心・安全な社会に生きるために、医療と教育に大きな財源を確保する義務があります。

新しい技術の保険導入が急務!

医科では白内障手術の眼内レンズ、胃がんの原因となるピロリ菌の除去や禁煙指導など新しい技術がどんどん保険に導入されています。しかし、歯科では新しい技術の保険導入がほとんど行われていません。道民の皆さまの「どうして歯科治療はぜんぶ保険で出来ないの?!」という声には、まったく同感です。

早期に保険導入されるべき診療

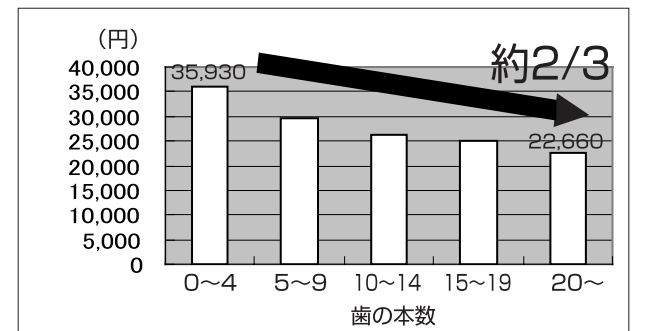
- 奥歯への丈夫な白い歯
- 唾液中でむし歯や歯周病のリスク検査
- 金属アレルギー患者さんへの対応
- 金属床の部分入れ歯
- セラミックで作られた前歯

医科と同じように、積極的に歯科の新しい技術と安全性の確立されている治療法を早期に保険に取り入れていく必要があります。

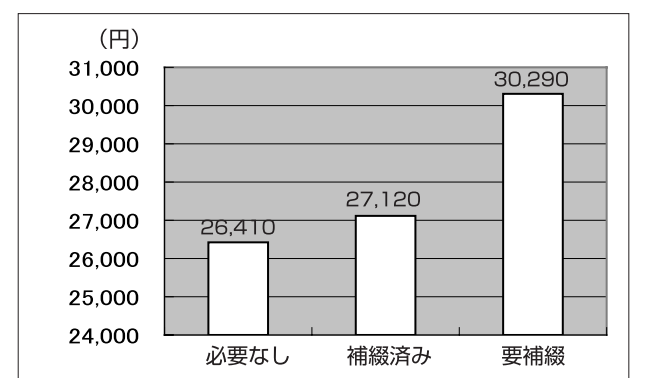
歯・口の健康は全身の健康に大きく寄与!

はちまるにいまる
「8020運動に基づく歯と全身の健康に関する実態調査」
北海道歯科医師会会員の8割以上が協力し、2007年5月診療分について北海道国民健康保険団体連合会が行った道内の国保被保険者の満70歳以上の方で、歯の健康が全身の健康(医科診療費)に、どうかかわっているかの調査で以下のことがわかりました。

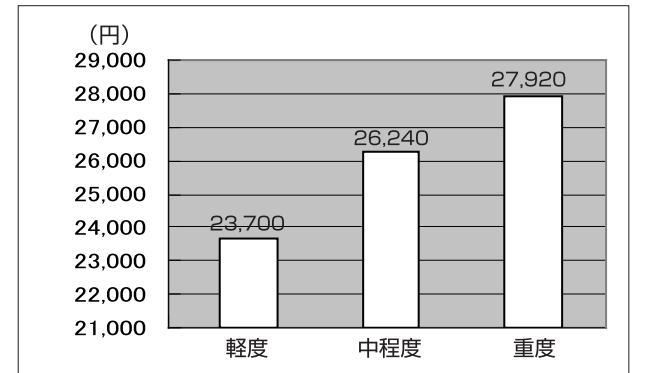
① 歯の本数と医科診療費の関連
自分の歯が20本以上ある高齢者は、歯がほとんどない高齢者に比べ、医科診療費が約2/3で済んでいるという驚くべき結果が得られた。



② 歯のない部分の補綴状況と医科診療費の関連
歯のなくなった部分を放置することなく積極的に補綴治療を受けている高齢者は、受けていない高齢者に比べ医科診療費が少なかった。



③ 歯周病と医科診療費の関係
重度の歯周病を有する高齢者は、軽度あるいは中程度の高齢者に比べ医科診療費が多かった。



これらの結果から、継続的に歯科を受診して、予防処置を含む適切な歯科治療を受けて、歯の喪失を防ぐことが全身の健康増進に寄与するばかりか、皆さまの窓口負担を軽くすることにもつながることがわかりました。北海道歯科医師会は道民の皆さまに歯・口の健康からはじまる健康づくり「健口北海道を創ろう!」運動を訴え続けます。

トピックス 「北海道歯・口腔の健康づくり8020推進条例」(略称:8020推進条例)

北海道では、12歳児の一人平均むし歯数が全国平均を上回り、47都道府県中ワースト3という結果で大変残念なことです。このような状況をうけて、道は本年6月26日に8020推進条例を公布・施行しました。

その内容には「住み慣れた地域において、生涯を通じた必要な歯科保健医療サービスを受けることができるように、また事業者は、道内の事業所で雇用する従業員の歯科健診、保健指導の機会を確保し、その他の歯・口腔の健康づくりを推進するよう努める、そして学校等におけるフッ化物洗口の普及その他の効果的な歯科保健対策の推進に必要な措置を講ずる」などの項目が盛り込まれました。これは新潟県に続き全国2番目の画期的な条例で、その実行が強く望まれます。

道民の皆さまへのメッセージ

北海道歯科医師会の願いは、道民の皆さまが「お口の病気の予防ができ、保険で安心して充実した歯科治療が受けられる」ようになることです。

